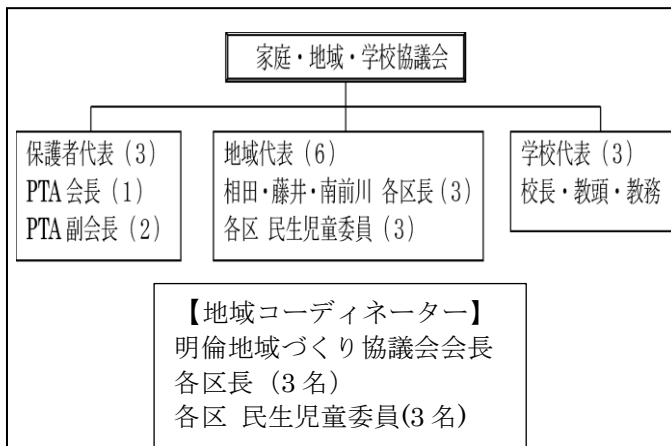


# 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

若狭町立明倫小学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

※開催回数 2回

※開催日程

① 5月15日 (水)

② 12月5日 (木)

※協議内容

① スクールプラン・年間行事の説明

学校や地域の教育に関すること

学校評価の項目について

② スクールプランの進捗状況

学校評価の結果と考察

### (3) 協議会における成果と課題

第1回の協議会では、スクールプランを地域の方々と共有し、学校の目指す教育について理解を得るとともに、様々な面での協力をお願いした。学校評価の項目を協議する中で、特に児童の安全面や挨拶について活発な意見交換が行われた。第2回の協議会では、学校評価のアンケート結果を中心に協議し、特にふるさと学習の重要性及び充実についての発言が活発であった。

課題としては、地域代表の方がふだん地域で子ども達の様子を見る機会が少なくなっているという現状が挙げられる。地域代表の方を学校行事に招待するだけでなく、サロン訪問など積極的に地域に出かけていく活動にも力を入れる必要がある。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

- ・児童自らがふるさとの自然や文化、歴史等について調べたり、体験したりするなかで、ふるさとの魅力を再発見し、ふるさとに対する愛着を育む。
- ・ふるさとについて調べる活動をとおして、ふるさとの課題を知り、課題解決に向けて児童が主体的に行動するなかで、ふるさとに貢献する喜びを味わったり、次代を担う地域の一人としての自覚を高めたりする。
- ・ふるさとの偉人について進んで調べ、その功績や生き方を知るなかで、ふるさとに対する誇りや愛着を育む。

### (2) 活動の実際

#### ① 地域の伝統芸能にふれるお囃子体験活動

6月には、恒例となっている「お囃子体験活動」を実施した。区長さんや老人クラブ長さん、囃子保存会の方々に来ていただき、各集落に伝わる祭礼時の笛や太鼓のお囃子を区ごとに児童に教えていただいた。今年度は低学年も体験に参加させてもらった。活動の最後には教えていただいたお囃子の腕前を集落ごとに発表している。



【お囃子体験活動】

## ②農業体験

隔年で5・6年生が、地域の方々にお世話になり、田植えと稲刈りの体験活動をさせていただいている。5月の田植えでは手植えと機械植えの両方を体験し、9月の稲刈りでは鎌を使って刈り取って束にする作業に取り組んだ。児童は地域の方々に教えていただきながら、徐々に手際がよくなっていった。できた米を一俵いただいたので、おにぎりにして全児童で味わった。



【稲刈り体験】

## ③「ようこそ先輩！」～本校出身の先輩から学ぶ～

毎年、本校の卒業生をゲストティーチャーとして招き、特別授業をさせていただいている。

今年も、昨年同様、ロッテルダムマラソン優勝をはじめ数々の国際大会で日本代表として活躍された長距離ランナー「大南博美選手」を招いて陸上教室を開催した。5・6年生は、ウォーミングアップやトレーニングの方法を学んだ後、ハードル走と走り高跳びの実技指導を受けた。児童たちは、一流選手の刺激を受け、10月の町陸上記録会に向けて意欲を高めていた。



【大南選手の陸上教室】

## ④感謝を伝える活動

毎年11月に、登下校や読み聞かせ、お囃子体験活動や環境美化活動などで大変お世話になっているボランティアの方々を招待して感謝のつどいを行っている。初めに各学年それぞれ合唱や合奏などを発表した。その後、高学年を中心に考えた様々な手作りゲームを担当ごとに運営し、ボランティアの方々楽しんでいただいた。



【感謝の集い】

## (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・ふるさと教育推進に向けた情報提供
- ・児童の活動支援やアドバイス
- ・地域人材への橋渡し
- ・活動場所の手配や連絡調整

## (4) 特に工夫した事項

昨年度の反省の中で、なるべく教員主導ではなく、児童に主体性を育む必要性があがった。そこで本年は、教員の指示を減らしたり、教員が準備していたことを児童に任せたりして、児童が自ら進んで考え、活動する場を設定した。

## (5) 成果と課題

本校は開校以来「地域の学校」として大切にされてきた。老人クラブをはじめ地域の諸団体の方々自主的に学校美化活動をしてくださっている。また、ボランティアの方々による見守りや草刈り、学習支援等の協力や上記の活動へのサポートも非常に手厚い。おかげで児童は安心・安全で豊かな学校生活を送ることができている。そのような環境の中で地域の方々とのふれあい、地域の方々から学ぶことで、自分のふるさとの良さを感じ、ふるさとを愛する気持ちが育ってきている。

昨年課題となった、児童が自ら考えて取り組む活動を増やすという点について、今年は改善が見られた。今後は、主体的に地域に関わろうとする姿勢を育てていきたい。